

算数科年間指導計画・評価計画 1年

● なかよしあつまれ

4月中旬 (5時間)
p.2~8

◆単元の目標と評価規準

ものともを対応させることによって個数を比べることができるとともに、身のまわりのものの集合を捉える力を身につける。また、数や形に親しみ、算数で学んだことよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。【学習指導要領との関連 A(1)ア(ア)】

- ・ものともを対応させることによって、ものの個数を比べることができる。<知・技>
- ・観点に応じて、身のまわりのものの集合を捉えている。<思・判・表>
- ・数や形に親しみ、算数で学んだことよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。<態度>

1 いくつか

4月下旬~5月中旬 (8時間)
p.9~23

◆単元の目標と評価規準

○10までの数及び0について理解し、ものの個数を正しく数えることができるとともに、数の大きさを具体物や図などを用いて考え表現する力を身につける。また、数に親しみ、算数で学んだことよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。【学習指導要領との関連 A(1)ア(イ)ウ】

- ・10までの数及び0の意味や、数え方、よみ方、書き方、数の大きさや順序について理解し、数を数えたり比べたりすることができる。<知・技>
- ・数を用いる具体的な場面に着目し、数の大きさや順序を具体物や図などを用いて考えている。<思・判・表>
- ・数に親しみ、算数で学んだことよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。<態度>

2 なんばんめ

5月中旬 (4時間)
p.25~30

◆単元の目標と評価規準

○集合数と順序数について理解し、個数や順番及びものの位置を正しく数えたり表したりすることができるとともに、集合数と順序数の違いを具体物や図などを用いて考え表現する力を身につける。また、数に親しみ、算数で学んだことよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。【学習指導要領との関連 A(1)ア(イ)ウ、B(1)ア(ウ)】

- ・個数や順番を正しく数えたり表したりすることができる。また、前後、左右、上下など方向や位置についての言葉を用いて、ものの位置を表すことができる。<知・技>
- ・集合数と順序数を用いる具体的な場面に着目し、それらの違いを具体物や図などを用いて考えている。<思・判・表>
- ・数に親しみ、算数で学んだことよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。<態度>

3 いまなんじ

5月下旬 (1時間)
p.31~32

◆単元の目標と評価規準

○時刻についての理解の基礎となる経験を重ね、日常生活の中で「何時」「何時半」のような時刻をよむことができるとともに、時刻と日常生活を関連づける力を身につける。また、時刻に親しみ、算数で学んだことよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。【学習指導要領との関連 C(2)ア(ア)、C(2)イ(ア)】

- ・日常生活の中で時刻をよむことができる。<知・技>
- ・時刻のよみ方を用いて、時刻と日常生活を関連づけている。<思・判・表>
- ・時刻に親しみ、算数で学んだことよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。<態度>

4 いくつといくつ

5月下旬~6月上旬 (7時間)
p.35~43

◆単元の目標と評価規準

○10までの数について、1つの数をほかの数の和や差としてみるなど、ほかの数と関係づけてみるができるとともに、数の合成・分解について具体物や図などを用いて考え表現する力を身につける。また、数に親しみ、算数で学んだことよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。【学習指導要領との関連 A(1)ア(エ)】

- ・1つの数をほかの数の和や差としてみるなど、ほかの数と関係づけてみるができる。<知・技>
- ・数量の関係に着目し、ある数を合成・分解した数を考え、それらを具体物や図などを用いて表現している。<思・判・表>
- ・数に親しみ、算数で学んだことよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。<態度>

5 ぜんぶでいくつ

6月上旬～下旬（9時間）
p.45～56

◆単元の目標と評価規準

○加法の意味(増加、合併)や式について理解し、1位数+1位数で繰り上がりのない加法の計算ができるとともに、具体物や図などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、加法の計算に親しみ、算数で学んだことよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。【学習指導要領との関連 A(2)ア(ア)(イ)(ウ)、A(2)イ(ア)】

- ・加法の意味(増加、合併)や式について理解し、1位数+1位数で繰り上がりのない加法の計算が確実にできる。<知・技>
- ・数量の関係に着目し、計算の意味や計算のしかたを考えたり、日常生活に生かしたりしている。<思・判・表>
- ・数や式に親しみ、算数で学んだことよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。<態度>

6 のこりはいくつ

6月下旬～7月上旬（7時間）
p.59～67

◆単元の目標と評価規準

○減法の意味(求残、求補)や式について理解し、1位数-1位数で繰り下がりのない減法の計算ができるとともに、具体物や図などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、減法の計算に親しみ、算数で学んだことよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。【学習指導要領との関連 A(2)ア(ア)(イ)(ウ)、A(2)イ(ア)】

- ・減法の意味(求残、求補)や式について理解し、1位数-1位数で繰り下がりのない減法の計算が確実にできる。<知・技>
- ・数量の関係に着目し、計算の意味や計算のしかたを考えたり、日常生活に生かしたりしている。<思・判・表>
- ・数や式に親しみ、算数で学んだことよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。<態度>

7 どれだけおおい

7月中旬（3時間）
p.71～74

◆単元の目標と評価規準

○減法の意味(求差)や式について理解し、具体物や図などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、減法の計算に親しみ、算数で学んだことよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。【学習指導要領との関連 A(2)ア(ア)(イ)(ウ)、A(2)イ(ア)】

- ・減法の意味(求差)を理解し、式に表して計算することができる。<知・技>
- ・数量の関係に着目し、計算の意味や計算のしかたを考えたり、日常生活に生かしたりしている。<思・判・表>
- ・数や式に親しみ、算数で学んだことよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。<態度>

8 10より大きいかず

9月上旬～下旬（10時間）
p.77～89

◆単元の目標と評価規準

○30程度までの数について理解し、数えたり表したり比べたりすることができるとともに、数の大きさを具体物や図などを用いて考え表現する力、及び繰り上がりのない2位数と1位数の加法、減法の計算のしかたを考える力を身につける。また、数に親しみ、算数で学んだことよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。【学習指導要領との関連 A(1)ア(ウ)(エ)(オ)(ク)、A(1)イ(ア)、A(2)ア(エ)】

- ・30程度までの数の数え方、よみ方、書き方、数の大きさや順序について理解し、数を数えたり比べたりすることができる。また、繰り上がりのない2位数と1位数の加法、減法の計算ができる。<知・技>
- ・数のまとまりに着目し、数の大きさの比べ方や数え方を考え、それらを日常生活に生かしている。また、繰り上がりのない2位数と1位数の加法、減法の計算のしかたを考えている。<思・判・表>
- ・数に親しみ、算数で学んだことよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。<態度>

9 かずをせいりして

9月下旬（2時間）
p.91～94

◆単元の目標と評価規準

○絵や図を用いた数量の表現についての理解の基礎となる経験を重ね、ものの個数について、簡単な絵や図などに表したり、それらをよみ取ったりすることができるとともに、データの個数に着目して身のまわりの事象の特徴を捉える力を身につける。また、数量の整理に親しみ、算数で学んだことよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。【学習指導要領との関連 D(1)ア(ア)、D(1)イ(ア)】

- ・ものの個数について、簡単な絵や図などに表したり、それらをよみ取ったりすることができる。<知・技>
- ・データの個数に着目し、身のまわりの事象の特徴を捉えている。<思・判・表>
- ・数量の整理に親しみ、算数で学んだことよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。<態度>

10 かたちあそび

9月下旬～10月上旬（5時間）
p.95～100

◆単元の目標と評価規準

○立体図形の理解の基礎となる経験を重ねて感覚を豊かにし、具体物を用いて形を作ったり分解したりすることができるとともに、形の特徴を捉えたり、形の構成について考えたりする力を身につける。また、身のまわりにあるものの形に親しみ、算数で学んだことよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。【学習指導要領との関連 B(1)ア(ア)(イ)、B(1)イ(ア)】

- ・ものの形を認め、形の特徴を知るとともに、具体物を用いて形を作ったり分解したりすることができる。<知・技>
- ・ものの形に着目し、身のまわりにあるものの特徴を捉えたり、具体的な操作をとおして形の構成について考えたりしている。<思・判・表>
- ・身のまわりにあるものの形に親しみ、算数で学んだことよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。<態度>

11 3つのかずのたしざん、ひきざん

10月中旬（4時間）
p.103～109

◆単元の目標と評価規準

○3口の数の加法、減法の意味や式について理解し、具体物や図などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、加法、減法の計算に親しみ、算数で学んだことよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。【学習指導要領との関連 A(1)ア(エ)、A(2)ア(ア)(イ)、A(2)イ(ア)】

- ・3口の加法、減法の意味を理解し、式に表して計算することができる。<知・技>
- ・数量の関係に着目し、計算の意味や計算のしかたを考えたり、日常生活に生かしたりしている。<思・判・表>
- ・数や式に親しみ、算数で学んだことよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。<態度>

12 たしざん

10月下旬～11月上旬（8時間）
p.111～121

◆単元の目標と評価規準

○1位数+1位数で繰り上がりのある加法について理解し、計算することができるとともに、具体物や図などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、加法の計算に親しみ、算数で学んだことよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。【学習指導要領との関連 A(2)ア(ア)(イ)(ウ)、A(2)イ(ア)】

- ・1位数+1位数で繰り上がりのある加法の意味や計算のしかたを理解し、加法の計算が確実にできる。<知・技>
- ・数量の関係に着目し、計算の意味や計算のしかたを考えたり、日常生活に生かしたりしている。<思・判・表>
- ・数や式に親しみ、算数で学んだことよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。<態度>

13 ひきざん

11月中旬～下旬（8時間）
p.123～133

◆単元の目標と評価規準

○十何-1位数で繰り下がりのある減法について理解し、計算することができるとともに、具体物や図などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、減法の計算に親しみ、算数で学んだことよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。【学習指導要領との関連 A(2)ア(ア)(イ)(ウ)、A(2)イ(ア)】

- ・十何-1位数で繰り下がりのある減法の意味や計算のしかたを理解し、減法の計算が確実にできる。<知・技>
- ・数量の関係に着目し、計算の意味や計算のしかたを考えたり、日常生活に生かしたりしている。<思・判・表>
- ・数や式に親しみ、算数で学んだことよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。<態度>

14 くらべかた

12月上旬～中旬（9時間）
p.136～146

◆単元の目標と評価規準

○量の理解の基礎となる経験を重ねて感覚を豊かにするとともに、長さ、かさ、広さなどの量の大きさの比べ方を考える力を身につける。また、身のまわりにあるものの大きさに親しみ、算数で学んだことよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。【学習指導要領との関連 C(1)ア(ア)(イ)、C(1)イ(ア)】

- ・長さ、かさ、広さなどの量を、具体的な操作によって直接比べたり、他のものを用いて比べたりすることができる。また、身のまわりにあるものの大きさを単位として、そのいくつかで大きさを比べることができる。<知・技>
- ・身のまわりのものの特徴に着目し、量の大きさの比べ方を見いだしている。<思・判・表>
- ・身のまわりにあるものの量の大きさに親しみ、算数で学んだことよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。<態度>

15 大きなかず

1月上旬～2月上旬（11時間）
p.150～164

◆単元の目標と評価規準

○2位数までについて、十進位取り記数法による数の表し方の基礎を理解し、120程度までの数を数えたり表したり比べたりすることができるとともに、数の大きさを具体物や図などを用いて考え表現する力、及び簡単な場合について2位数などの加法、減法の計算のしかたを考える力を身につける。また、数に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。【学習指導要領との関連 A(1)ア(ウ)(エ)(オ)(カ)(キ)(ク)、A(1)イ(ア)、A(2)ア(エ)】

- ・2位数までについて、十進位取り記数法による数の表し方、数の大小や順序を理解するとともに、120程度までの数を数えたり表したり比べたりすることができる。また、簡単な場合について、2位数などの加法、減法の計算ができる。<知・技>
- ・数のまとまりに着目し、数の大きさの比べ方や数え方を考え、それらを日常生活に生かしている。また、簡単な場合について、2位数などの加法、減法の計算のしかたを考えている。<思・判・表>
- ・数に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。<態度>

16 なんじなんぷん

2月上旬（3時間）
p.165～168

◆単元の目標と評価規準

○時刻についての理解の基礎となる経験を重ね、日常生活の中で「何時何分」のような時刻をよむことができるとともに、時刻と日常生活を関連づける力を身につける。また、時刻に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。【学習指導要領との関連 C(2)ア(ア)、C(2)イ(ア)】

- ・日常生活の中で時刻をよむことができる。<知・技>
- ・時刻のよみ方を用いて、時刻と日常生活を関連づけている。<思・判・表>
- ・時刻に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。<態度>

17 どんなしきになるかな

2月中旬～下旬（5時間）
p.171～176

◆単元の目標と評価規準

○順序数の加法、減法及び求大、求小の加法、減法の意味や式について理解し、具体物や図などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、加法、減法の計算に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。【学習指導要領との関連 A(2)ア(ア)(イ)、A(2)イ(ア)】

- ・順序数の加法、減法及び求大、求小の加法、減法の意味を理解し、式に表して計算することができる。<知・技>
- ・数量の関係に着目し、計算の意味や計算のしかたを考えたり、日常生活に生かしたりしている。<思・判・表>
- ・数や式に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。<態度>

18 かたちづくり

2月下旬～3月上旬（5時間）
p.177～182

◆単元の目標と評価規準

○平面図形の理解の基礎となる経験を重ねて感覚を豊かにし、具体物を用いて形を作ったり分解したりすることができるとともに、形の特徴を捉えたり、形の構成について考えたりする力を身につける。また、身のまわりにあるものの形に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。【学習指導要領との関連 B(1)ア(ア)(イ)、B(1)イ(ア)】

- ・ものの形を認め、形の特徴を知るとともに、具体物を用いて形を作ったり分解したりすることができる。<知・技>
- ・ものの形に着目し、身のまわりにあるものの特徴を捉えたり、具体的な操作をとおして形の構成について考えたりしている。<思・判・表>
- ・身のまわりにあるものの形に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。<態度>